

「もちろんです！
ご自身でも
演奏してみませんか？」



ボーン、と響く弦の音には透明感があり、癒しの音と呼ばれていることにも納得。

演奏を聴かせて
もらえますか。

MACHI IROHA



赤い弦が「ド」、青い弦が「ファ」。レバーを上げると各弦が半音高くなります。

演奏する曲に応じてレバーを設定することで、さまざまな調に対応します。

弦と弦の色	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
開放弦	ド	レ	ミ ^b	ファ	ソ	ラ ^b	シ ^b	ド
レバー操作をした場合	ド [#]	レ [#]	ミ	ファ [#]	ソ [#]	ラ	シ	ド [#]

知っている曲を簡単に演奏したり、ハープのオリジナル曲に挑戦したり…。希望に応じて選曲することができるよう、教則本も豊富に用意されています。また、ハープも大きいものから小さいものまで、たくさんの種類が展示されています。百聞は一聴にしかず、ハープの音色をぜひ体感してみてください、と店長の須田さんは話してくださいました。



取扱うアイリッシュハープはなんと40種類。上の写真は小型のベビーハープ（23,000円）。



教室のご案内

入会金 6,000円

月謝 1レッスン (40分)
個人レッスン

月2回 8,000円

月4回 15,000円

体験レッスン (30分)
1,000円

まずは体験レッスンで



何か楽器を始めたい、人と違うことに挑戦してみたい、ハープで演奏活動してみたい、ハープを弾いて癒されたい…。楽譜が読めない方でも大丈夫、まずはレッスンを体験してみてください。

〒021-0881
一関市大町6-52ガーデンヨコヤ1階
☎0191-34-6771
ichinoseki@graceharp.com



KAITAI!

まちいろはが、この町の「買いたい」ものと、その秘密に迫ります。

グレースハープ
FH36S チェリーハープ

「神話や童話の中から
抜け出して来たい
と言われます。」

間近に見られるだけで、
ちょっと感動しますね。

この夏、一関市大町なのはなプラザの交差点、常州園さんの隣にオープンしたハープ教室「グレースハープ一関店」。一関では初の教室とあって取材中も興味深そうに店をのぞき込む方々が多数。店内には大小さまざまなハープが展示されています。

このハープたち、実はこのグレースハープがオリジナルでデザイン・販売まで行っているもの。自社企画・製造だからこそ叶うリーズナブルな価格は、最近のハープ人口増加の大きな要因でもあるといえます。

店長は一関市出身の須田映子さん。幼い頃にテレビで目にしたハープに強烈な興味を持ち、油性マジックで棚に絵付きで「ハープ」と描いたことを覚えているとか。現在はハープの指導者として活躍中ですが、須田さんが実際にハープに触れたのは30代に入ってから。ご自身が大人になってから始めたので、同じようにたくさんの人にハープの楽しさを伝えたいという気持ちが強いそう。実際に目の前で奏でられるハープの音は、深い響きとやわらかな音色が身体を包み込むよう。サウンドヒーリングとしても、ハープの音色は大いに注目されています。

首都圏では、ちょっと変わった習い事として、今、密かなブームになっているそう。芸術の秋、なにか新しいことを、とお考えの方はぜひ一度お店をのぞいてみませんか。

¥701,000 (税別) グレースハープ
高さ137cm/幅42cm/奥行74cm 全36弦 C2-C7 (5オクターブ)

まちいろは
いいもの

ANATOMISCHE
TABELLEN

買いたい！
解体新書
食べたい！

Karte Nr.18